

## 県外から講師を呼び

### 福祉有償運送

#### 運転者講習会開催

平成21年1月24日、25日、沖縄県総合福祉センターにおいて福祉有償運送運転者講習会を実施した。

講師として、NPO法人 日本移送・移動サービス地域ネットワーク連合会より竹田理事長他6名のスタッフを招聘し、県内からは、昨年インストラクター養成講習を修了した4名の地元インストラクターに協力を依頼した。

講習では、初日に座学（関係法令や利用者理解等）、2日目に福祉車両やセダン等の乗用車、車イスを用いた実技演習を行った。



福祉有償運送は、バスやタクシー等、公共交通機関の利用が困難な高齢者や障害者等に対して、NPOや社会福祉法人などの団体が自家用自動車を使用し、営利とは認められない範囲の対価によって個別の移動を提供するサービス。

利用者は、このサービスによって公的な制度では対象とならない移動（例えばレジャー目的の移動等）も可能となる。

他人を有償で運送することから、利用者の安全を確保することが必要不可欠。福祉有償運送を行う事業所は陸運事務所への登録が必要であり、運転者は国土交通大臣が認定した講習を受講しなくてはならない。

今回の講習では57名が全課程を修了し、資格を得た。移動困難者の交通環境ノーマライゼーション化に向け彼らの今後の活躍に期待する。

### 視覚障害について 理解を深め、 「ともに生きる」を 目指して

3月17日沖縄県立コザ高等学校2年5組において、沖縄県盲学校より与座健作先生（視覚障害）を招き、英語の特設授業が行われた。

コザ高等学校は、視覚「障害」をもつ生徒の在学をきっかけに、平成20年度県社協ボランティア活動推進校として指定を受け、「視覚「障害」について知ろう！」支援あい・学びあう活動を通して「をテーマに、3年間取り組みを行っている。

1年目の今年も、視覚障害について理解を深めようと、1学期に沖縄県盲学校を訪れランドソフトボールで生徒たちと交流した。2学期では、学園祭で盲人卓球を体験できるスペースを設けた。3学期は、与座健作先生の講演会を企画しているが、生徒より、「与座先生は、英語の先生なんだから、英語の授業をしてもらえば」との提案があり、実現した。与座先生は、英語と日本語の両方で、授業を進めた。単語の発音を確認しながら、生徒につづりを黒板に書かせたり、発音やつづりの似ている英単語を関連付けて教えるなど聴覚を生かした授業が行われた。



▲点字のプリントを使い、授業を進める与座先生

授業終了後、生徒からは「発音がよくて本当に授業が楽しく勉強になりました」「与座先生と過ごした1時間は、アツという間だった」との感想が聞こえた。

また、与座先生は「普段は、（盲学校では）少人数だが、今日は、人数が多いので、どうやって生徒の興味を保つか事前に準備した」と話された。

日頃2年5組、英語クラスを担当する幸地一先生は、「ユニバーサルデザインが多くの人に使いやすいうに、視覚に障害のある生徒にとっても分かりやすい授業は、他の生徒にとっても分かりやすい授業である事を改めて認識した」と話された。